

# 東部土木 だより第7号

発行:宮城県東部土木事務所  
住所:〒986-0812  
石巻市東中里二丁目1-1  
電話 0225-95-1151  
FAX 0225-93-8168  
メール [et-dbk@pref.miyagi.jp](mailto:et-dbk@pref.miyagi.jp)  
HP <http://www.pref.miyagi.jp/et-dbk/>

## チリ大地震の津波 日本来襲！

去る2月27日に発生した南米チリ中部沿岸を震源とする大地震(M8.8)による津波が、翌日28日に日本を襲いました。

石巻管内の市町では、約3万3000世帯に避難指示を発令し、避難・警戒を呼びかけ、沿岸住民は高台等に避難を行いました。

当事務所においても警戒配備態勢をしき、沿岸道路の交通規制や陸閘・水門等の閉扉確認業務等にあたりました。

人的被害は幸い無かったものの、各地で浸水被害が発生し、また津波の莫大なエネルギーにより、養殖施設や海産物を中心に甚大な被害が発生しました。

被害に遭われた沿岸地域の方々、特に養殖業を営まれている漁業者の方々には、心からお見舞い申し上げます。



津波浸水状況(女川町女川浜地内)

津波浸水痕跡(女川町女川浜地内)

■問合せ先:宮城県東部土木事務所 道路管理班 TEL0225-94-8762(直通)

## 第9回子どもサミットが開催されました！

毎年恒例となっている、**NPO 法人ひたかみ水の里**(代表 **新井偉夫さん**)主催による、「**第9回子どもサミット**」が平成22年1月30日に石巻合同庁舎5階大会議室において開催されました。

我々大人が、子どもの頃に経験してきたように、身近な川や海などの自然と遊ぶ楽しさや、遊びの中から気づいたり、学ぶことができる数々の事柄は、子どもたちを一回りも二回りも大きく成長させます。そして彼らが大人になった時に、かけがえのない思い出、心の支え、宝物となって、いつまでも生きていきます。しかし最近の子どもたちは、川などの自然の中で遊ぶ機会が少なくなっています。

この状況に心を痛めた新井さんが、子どもたちの川での活動を全面的にサポートし、遊びと学びの機会を提供し始めました。その取り組みの輪が広がっていき、現在ではいくつもの小学校の総合学習として取り入れられています。

このサミットは、そういった子どもたちの川などの自然とふれあう活動を通して学んだ成果を発表する場として開催されています。なんと今年度で9回目だそうです。

カヌー体験などの遊びの楽しさにつられて、子ども達は無意識に自然に引き込まれていき、ゴミ問題や水質、植物、水生動物、川の歴史など様々なことを自ら進んで学んでいきます。もちろん活動を通して、水の怖さだったり、友達と協力する大切さなどもバッチリ身につけていきます。

是非、あなたの学校でも取り組んでいただけたらと思っています。新井さんがいつでも相談に乗ってくれます。(新井さんへの連絡先:090-3364-7433)



新井さんによる開会宣言。



石巻市文化財保護委員の  
千葉昌子さんによる講話です。



熱気あふれる会場の様子です。



貞山小学校4年生による貞山運河  
のゴミ問題についての発表。



貞山小学校4年生による貞山運河  
の松等の植物についての発表。



鹿又小学校4年生による北上川と  
白さぎについての発表。



開北小学校4年生による北上川の水質についての発表。



中里小学校4年生による北上川の歴史や生態系についての発表。



めだかっこクラブによる川の生き物などについての発表。



住吉小学校4年生によるPPを使った北上川の歴史や生き物についての発表。



湊第二小学校4年生による北上運河の歴史や石井閘門のしくみについて。



赤井南小学校5年生による定川の自然や水質についての発表。



会場では、これまでの学習の成果が壁面いっぱいに貼られました。



最後に総合学習を御担当された先生方の意見交換がありました。



子ども達全ての発表すばらしかったです。先生方のご指導のおかげです。ありがとうございます。

## NPOひたかみの里に知事からの感謝状を贈呈



NPOひたかみの里は、県のスマイルサポーターとして河川愛護、美化活動に積極的に取り組まれ、本県の土木行政に多大な功績を残されてきたことから、宮城県知事からの感謝状を、サミットの冒頭に東部土木事務所長から新井さんへ贈呈しました。これからもよろしく願います。



■ 問合せ先: 宮城県東部土木事務所 技術次長(企画担当) Tel.0225-94-8763(直通)

# 県道釜谷大須雄勝線 立浜～大須間の 地域協働(コラボ)事業 工事に着手します。

当該地区は石巻市雄勝町の半島部に位置し、県道釜谷大須雄勝線が地域で唯一の交通手段となっていますが、この地区のほぼ全線に亘って、幅員が狭小で急カーブが連続するため、通行車両同士が交差できない等の交通の難所で危険な状態となっています。

地域内では、この状況改善のため、除草やカーブミラーの清掃といった活動を実施し、努力して頂いておりますが根本的な解決となっておらず、新たな対策が必要となっていました。

この課題を解決するため、県では昨年からの地域の代表者と道路改良計画について協働で計画し、地域連携し事業用地を確保することができました。今後工事に着手していきますが、工事期間は、交通規制などご不便をおかけしますので、ご協力のほどよろしくお願いします。



幅員の狭小  
接触事故の危険性大



通学路上に歩道がない。



車道部の改良  
現道幅員4.0m→改良5.0m



歩道部の改良  
1.0m程度の歩行帯の設置

### 地元の活動状況

カーブミラー清掃



見通し確保の伐採



通学路上での歩行帯の設置・管理



■ 問合せ先: 宮城県東部土木事務所 道路建設第一班 TEL0225-94-8763(直通)

## 内海橋歩道拡幅工事について

一般国道398号、石巻市中瀬に架かる内海橋の歩道拡幅工事による交通規制等により、皆様にはご不便をおかけしておりますが、ご理解と御協力をお願いいたします。

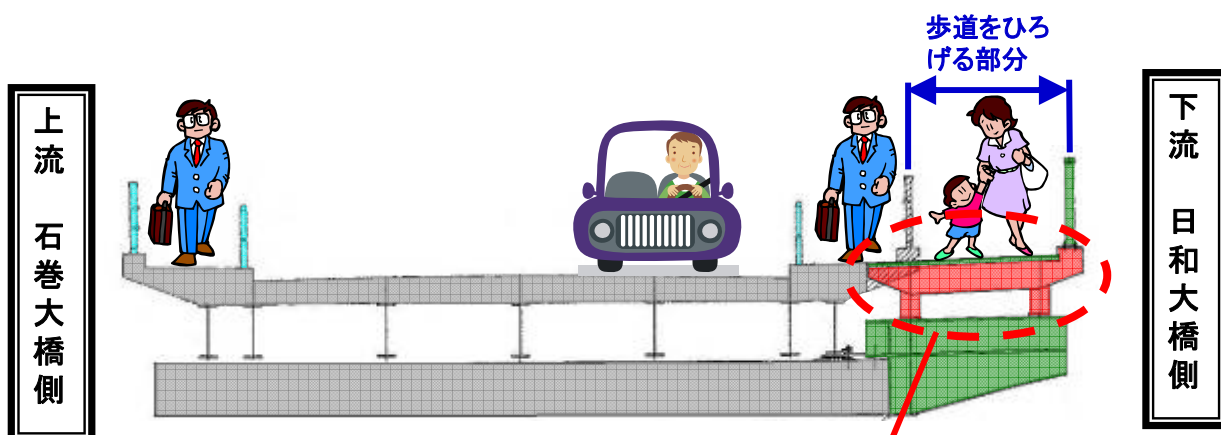
本号では、歩道をひろげる部分に使用する『アルミ床版』について紹介いたします。

### ◎ アルミ床版<sup>しょうばん</sup>って？

橋の土台となる橋台や橋脚は、上部工(床版)の重さを支えられる様に造られているので、上部工を重くすると、そのままでは橋台や橋脚が重さに耐えられなくなります。

そのことから、内海橋では現在の橋台や橋脚のままでも耐えられるよう、歩道をひろげる部分には、重量の軽いアルミ製の床版を採用しています。

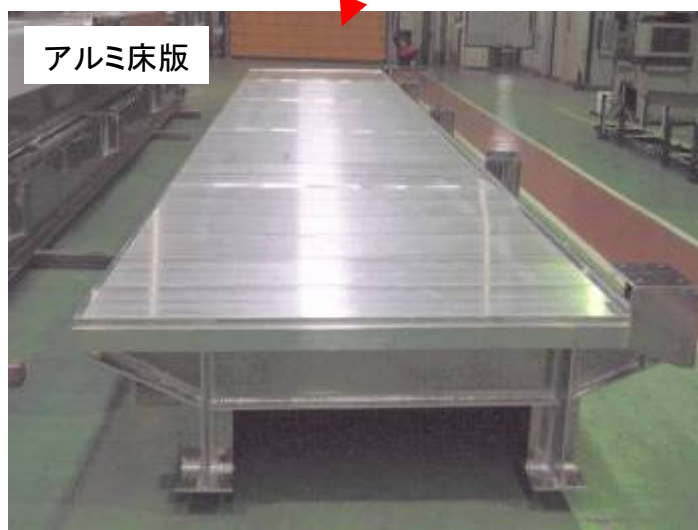
完成時には、このアルミ床版に高欄(転落防止柵)を設置し、厚さ1cmの舗装をかぶせることとなります。



### ☆アルミ床版工場製作状況 (平成22年3月撮影)

工場での製作はまもなく終了し、今後4月末以降に現地への搬入を予定。

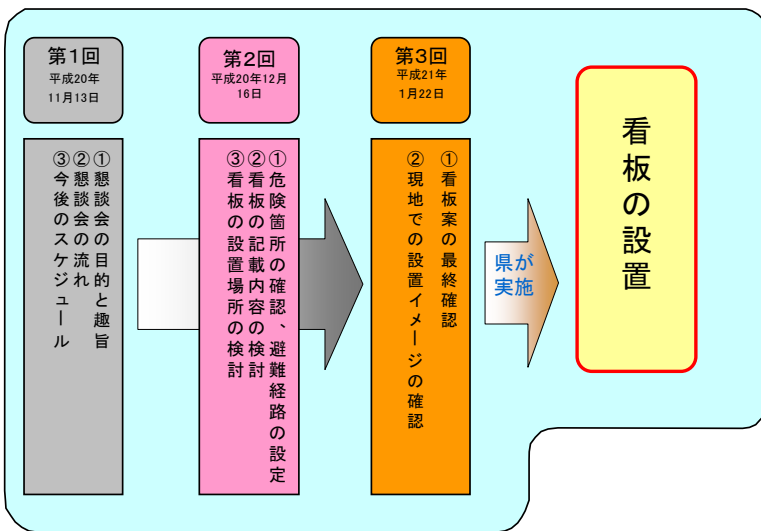
ブロック割(写真のものは延長10m、幅2.5m)して製作した床版は、橋を夜間通行止めにして、橋の上からクレーンで設置することとしています。



# 土砂災害危険看板を設置しています

土砂災害防止法における土砂災害警戒区域指定後に、関係市町村が定める警戒区域避難体制整備(土砂災害ハザードマップ作成等)に関するモデル事業として「看板」の設置を行っています。

昨年度のモデル地区として、東松島市大塚地区を対象とし、平成21年9月に看板設置を完了しました。設置に当たっては、実際に地域に住んでいる住民の方々との懇談会を3回開催し、意見交換を行いながら実施しました。



【第1回懇談会のようす】

概要説明



【第2回懇談会のようす】

3班に分かれて検討会

各班の発表



【第3回懇談会のようす】

最終確認



【懇談会による総合案内板】



【看板設置状況例】

大塚公民館

大塚駅前



■ 問合せ先: 宮城県東部土木事務所 河川砂防第一班 Tel0225-94-8785(直通)

## 「第5回横須賀海岸侵食対策研究会」を開催しました！

一級河川北上川河口部右岸に位置する石巻市長面の横須賀海岸は、近年海岸侵食が進行し、平成18年10月の低気圧風浪で捨石護岸や海水浴場施設、背後の保安林への被害も発生していました。これまでの研究会では、侵食のメカニズムを解明し対策工法などを提案していましたが、第4回研究会(平成19年8月開催)以降に石張護岸工が完成し、応急的な対策として提案した試験突堤(L=50m)も完成したことから、汀線の変化や海浜断面の変化などを観測し、その効果や影響を検証して第5回研究会(平成21年11月25日)に諮りました。

その結果、汀線の前進も確認でき安定してきていることや、昨年の10月上旬に襲来した台風18号に伴う波浪を受けても大きな汀線の変化がないことなどから、今まで提案してきた突堤と養浜による対策工を恒久的な基本対策工とすることは妥当であるという意見をいただきました。また、今後数年間はモニタリング調査を継続していくことになりました。



【位置図】



【捨石護岸・保安林の被災状況】



【研究会の様子】



【石張護岸工及び試験突堤が完成】

■問合せ先: 宮城県東部土木事務所 河川砂防第二班 TEL0225-94-8785(直通)

## 防災一口メモ

### ■昭和35年のチリ地震津波とは？

1960年(昭和35年)5月23日午前4時11分(日本時間)に発生したチリ地震は、大津波を発生させ、津波は地球の裏側からジェット機のスピードで太平洋をわたり、約23時間後の翌日24日早朝に日本を襲いました。

この大津波により、県内での死者41名、負傷者625名、行方不明12名、家屋全壊1206戸、家屋半壊899戸、家屋流出307戸などを数える甚大な被害が発生しました。

今後高い確率で発生が確実視されている次の「宮城県沖地震」においても、津波発生が予測されています。

今年の5月で、チリ地震津波からちょうど50年の節目を迎えます。大規模な災害に対しては、一人ひとりの備えが肝心です。これを機に、今からでも遅くはありません！家族、学校、職場、地域で、防災対策を確認、見直して、間近に迫る地震・津波に備えましょう。



【チリ地震津波：女川町の被災状況】



【チリ地震津波：雄勝町の被災状況】

### 東部土木事務所ホームページに掲載している資料等！

- 1 宮城県東部土木事務所の概要 (PDF：1.1MB) 平成21年度版 (ダウンロードできます)
- 2 東部土木だより (第1号～第6号 PDF：276KB～864KB) (ダウンロードできます)
- 3 スマイル・サポーターの紹介
- 4 職員による各種活動の紹介 (ダウンロードできます)
- 5 代表HP <http://www.pref.miyagi.jp/et-dbk/> 代表Eメール [et-dbk@pref.miyagi.jp](mailto:et-dbk@pref.miyagi.jp)

◇◇◇◇◇ 編集後記 ◇◇◇◇◇ 編集後記 ◇◇◇◇◇ 編集後記 ◇◇◇◇◇  
この「たより」は当事務所と地域住民等のふれあいを重点的に掲載しています。「たより」に掲載してほしいこと、また、ご意見やご提案がありましたら、下記まで連絡をお願いします。

■問合せ先：宮城県東部土木事務所 技術次長(企画担当) TEL0225-94-8763(直通)